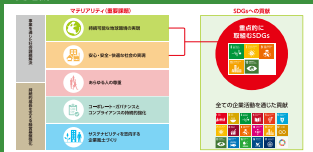


# 三菱電機の社会課題解決への取り組み



三菱電機グループは、社会課題の解決に向けた価値創出を追求するとともに、全ての企業活動を通じて世界共通の目標であるSDGs<sup>1</sup>の17の目標達成に貢献します。

## 三菱電機グループのマテリアリティ



## 環境への取り組み

三菱電機株式会社は、2009年10月に「出社グループの環境戦略」への長期ビジョン「環境ビジョン2050」を策定しました。さまざまな環境課題の解決に向けて、当社グループ一員ひとりの思いをつなぎ、新しい価値の創造に挑戦し、持続可能な未来の実現に貢献します。併せて、社会課題の解決に向けた取り組みの推進に向け、長期的な取り組みのさらなる継続が企業に求められています。「環境ビジョン2050」は、出社グループの事業活動を重要な経営課題と位置づけ、環境課題の解決に向けて取り組むことを定めています。出社グループの定める企業活動を軸とし、2050年に向けた「環境宣言」/「3つの環境行動計画」に基づき、重点的取り組みを行っています。

## 環境ビジョン2050



## 中期目標2030

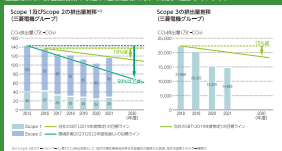
三菱電機グループは、上記の長期目標の達成に向けて、2030年に工業・オフィスからの温室効果ガス排出量（Scope 1, Scope 2）を2013年 대비 75%以上削減する9という目標を2022年に決定しました。そのほか、以下の温室効果ガス排出削減目標は、2020年1月にSBTi（Science Based Targets）の認定を受けています。

- Scope 1 & Scope 2: 2030年までに温室効果ガス排出量を2016年度基準より19%削減
- Scope 3<sup>1</sup>: 2030年までに温室効果ガス排出量を2018年度基準より15%削減



## 目標の進捗

温室効果ガス排出削減の取組は、目標達成に向けて順調に進んでいます。



## 産業メカトロニクス製作所 / 名古屋製作所におけるCO<sub>2</sub>削減への取り組み

産業メカトロニクス製作所 / 名古屋製作所では、産業メカトロニクス製品製造過程において100%の再生電力を導入し、今後さらに電力供給の強化のため、太陽光パネルの増設を予定しています。



産業メカトロニクス製作所でのCO<sub>2</sub>フリー電力購入・使用量 - 約18,900kWh  
※再生電力の導入による削減効果

